

## 国立大学法人九州工業大学経営協議会議事要旨（令和3年度第2回）

開催日	令和3年9月29日(水)
場所	本部棟2F会議室、オンライン
出席者	【2F会議室】学長，理事（研究・総務・国際・施設担当），理事（教育・学生・情報担当），理事（入試・計画評価・ダイバーシティ担当），理事（経営改革・財務担当），理事（広報・社会連携担当）， 【オンライン】麻生委員，井上委員，小笠原委員，久保委員，久保田委員，高原委員，宮腰委員，山口委員（五十音順） 工学研究院長，情報工学研究院長，生命体工学研究科長
列席者	【オンライン】近藤監事，林田監事，学長特別補佐（産学連携担当），教養教育院長
会議成立	構成員19名のところ，17名の出席により定足数を満たしていることが確認された。

議題	NO	議題	結果	主な意見
議題1	(審議事項)	人事院勧告に伴う給与改定等について	原案のとおり承認され，役員会に付議	
議題2	(審議事項)	国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等について	一部修正のうえ承認され，役員会に付議	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外部からの人材活用の観点を入れているのは大変結構なこと。また、若い人材を早期に法人経営に参画させる人材育成方針も組織運営上、非常に大事</li> <li>○基本方針の中に書いてあることと、ガバナンス・コードの記載事項に書いてあること（副理事制度、若手センター長任命など）との関連がわかりづらい印象。もう少し整理しては</li> <li>○若手が早めに経営に参画するということは教員においても事務においても賛成。さらに若手の力で自由闊達な議論を行うような会議の文化・スタイルに醸成していければと感じている</li> </ul>
議題3	(報告事項)	令和4年度予算の概算要求について		<ul style="list-style-type: none"> <li>○九工大で言うDX化の定義、それに対する人材育成のポイントを打ち出せれば企業等からバックアップを受けることが出来ると感じているし、期待している</li> <li>○デジタル化していく余地が多々あるのが大学事務だと思っている。様々な民間企業のITを使った効率化手法も導入しつつ、大学事務のデジタル化もトライしてもいいのでは</li> </ul>
議題4	(その他)	JST事業「スタートアップエコシステム形成支援事業」による拠点形成		<ul style="list-style-type: none"> <li>○人材の共有というのが一番難しい。今取り組んでいるGYMLABOが成功することで人材の育成に繋がっていると感じている。期待している</li> <li>→人材育成は組織毎に強み弱みがある。良い面を組織を跨いで共有することで相乗効果も期待される</li> </ul>
議題5	(その他)	AIを用いたマッチング支援システムのご紹介		